

# Switch (Vol.20No.3)



[Switch \(Vol.20No.3\)\\_下载链接1](#)

著者:

出版者:スイッチ・パブリッシング

出版时间:2002/02

装帧:

isbn:9784884180430

出版社/著者からの内容紹介

## 特集・井上雄彦「バガボンド・トライブ」

『スラムダンク』『バガボンド』を徹底的に語り下ろした最新のロング・インタビュー、伊東の森深く、宮本武蔵と重ねるように撮り下ろされた初のフォト・ストーリー、写真家・斎門富士男とのコラボレーションや、これまでの全作品を振り返る詳細なレビューなど、希代の漫画家の素顔に迫る渾身の44ページ総力特集。

### ・PHOTO STORY [A VAGABOND TRIBE] 斎門富士男/写真

どこまでも高みをめざして山の頂へと登りつづけ、どこまでも深みをたどって森の奥深くを彷徨う宮本武蔵は、はたしてどのような境地へと辿り着くのか。『スラムダンク』から『バガボンド』へ——漫画家井上雄彦もまた、「いま、ここ」という現実の空気を吸い込みながらも、はるか時間の彼方へと想像力を膨らませるうちに、生と死が交錯し、善と悪が瞬時に入れ替わる「世界」という名の森へと、寄る辺ない「流浪」へと旅立っていく。まるで未踏のけもの道を一步一步踏みしめるように。

### ・DOCUMENT [森へ行く] 今井栄一/文

夜の森に立つ宮本武蔵。覆い被さるような木々に囲まれ、一人木刀をふっている。木刀を手にふと見上げれば、森の隙間から満点の星。この山に生まれ、この森に育てられたのだ、と武蔵は想う。そして森から這い出てくる度、武蔵は何かを知るのだ。1月4日、5日。伊豆へ、井上雄彦と旅をした。

### ・INTERVIEW [『スラムダンク』から『バガボンド』へ] 今井栄一/文 井上雄彦/絵

今、やっと小さなマイクを置いた。MDの赤い録音スイッチを押す。ここに録音される言葉を、僕は後で何度も何度も聞くことになるだろう。聞いて、頷いて、また『バガボンド』を、『スラムダンク』を、読み返すだろう。そのときまた、それらの作品が少しだけ違って見えてくるかもしれない。

### ・COLLABORATION [SILENT CONVERSATION 井上雄彦×斎門富士男]

写真家・斎門富士男が撮影した茫漠とした風景に、漫画家・井上雄彦は何を「見立てる」のか。「どこにも心を留めず、見るともなく全体を見る」

——『バガボンド』にあった、若き日の武蔵を諭す沢庵の言葉を、この即興的なコラボレーションに「見る」。

### ・REVIEW [THE COMPLETE ARCHIVE 井上雄彦全作品紹介] スイッチ編集部/文

『スラムダンク』『バガボンド』『リアル』の3作品以外の作品を含めて、時系列順に井上雄彦という存在を追ってみる。そのことで、これまで見えてこなかった作品の相関や背景を浮き彫りにするアーカイヴ。

作者介绍:

目录:

[Switch \(Vol.20No.3\) 下载链接1](#)

标签

评论

-----  
[Switch \(Vol.20No.3\) 下载链接1](#)

书评

-----  
[Switch \(Vol.20No.3\) 下载链接1](#)